



華齡 *Aging Science*

日本アンチエイジング歯科学会誌

Official Journal of Japan Society for Dental Anti-Aging

Vol. **18**
2025

ISSN 2186-3571

Preface

JSDA 創立 20 周年の考察

松尾 通

Special Issues 『身体の老化予防に直結した歯科医療の展開』

特別企画論文 1	口腔完結型から疾病予防・健康寿命延伸に活かす歯科医療へ	武内博朗	2
特別企画論文 2	抗加齢（アンチエイジング）歯科医学の実際 — 全身口腔医学への展開 —	小松知子 片山幸太郎 李 昌一	5
特別企画論文 3	唾液 IgA に焦点を当て、老化予防に直結した歯科医療の展開について	槻木恵一	10
特別企画論文 4	アンチエイジングにつながるインプラント治療	田中譲治	12
特別企画論文 5	人生 100 年時代を見据えた栄養戦略で最期まで自分らしく生きる	篠原絵里佳	16
特別企画論文 6	骨格筋の減弱を予防・改善するための運動の効果を高める栄養	高波嘉一 川合ゆかり	20

Review Articles

総説 1	乳幼児期の親との食器共有とう蝕の関連性における再考察	古田美智子 相田 潤	24
総説 2	口腔機能発達不全症についての取り組み	福井朝望 齊藤一誠	27

Product Report 株式会社インボディ・ジャパン

商品レポート	InBody を活用した歯科診療の新たなアプローチ	佐藤和奏	31
--------	---------------------------	------	----

Suggestions

提言論文 1	障がい児の歯科医療に携わるときの私の心構え — 一次医療機関で発達が気になる子どもたちと関わっていくには —	佐藤 厚	34
提言論文 2	心が開かないと口は開かない — 生活支援～被災地・能登との関わり —	加賀谷昇	39

Columns

コラム 1	「歯科×ウェルネス」で地域に寄り添う	江淵 敦	43
コラム 2	世界のレジェンド桑田正博記念館訪問記と歯科技工士の実力	川島 哲	45

Summary & Proceeding, Reports

講演論文	実現！理想のアンチエイジング歯科医院 ～開業13年目の歩み～	友枝 亮	49
学会レポート1	2月に設立した一般社団法人H&S Institute [®] について	吉原敬典	51
学会レポート2	ホノルルで開催されたOREとJSDAコラボレーション学会レポート	武市えり子	54
講演レポート	2025年9月6, 7日に開催された創立20周年記念学術大会 講演レポート	広報・会誌委員会	56
図書紹介			60
日本アンチエイジング歯科学会創立20周年記念学術大会終了のご挨拶		前島健吾	61
第20回学術大会に向けて		中島 健	69
広報・会誌委員会から投稿のお願い		武内博朗	71
投稿規程			72
編集後記		広報・会誌委員会	73



2月に設立した 一般社団法人H&S Institute[®]について

博士（学術）東京医科歯科大学
目白大学大学院経営学研究科長・教授
一般社団法人H&S Institute[®]理事長

吉原 敬典

1 はじめに

2025年2月19日に一般社団法人H&S Institute[®]（商標登録第6927641号）こと、ホスピタリティ&サービス研究所を設立しました。主な事業は、ホスピタリティ・クリエーター[®]（商標登録第6891831号）資格養成とその認定事業です。「ホスピタリティ・クリエーター[®]」は当法人が行う認定試験に合格した受講生に対して付与する認定資格のことで、

護、栄養など人間のQOLの向上に関わり携わる人、Health & Hospitalityを合言葉にして私たちの健康を創造する人、またその他の関連する事業を推進する人です。このような目的を達成するために、当法人では以下の事業を行います。

- ① 教育・研修事業
- ② ホスピタリティ・クリエーター[®]資格認定事業
- ③ インストラクター養成事業
- ④ コンサルティング事業
- ⑤ 上記の事業に附帯または関連する事業

2 ホスピタリティ・クリエーター[®]の意義

今やデジタル化の進展、サービスの無人化、自動化、経済化が加速度的に進んでいます。ますます便利な世の中になっている反面、潤いのない乾き切った社会になっていくことが危惧されます。人を思い、共に喜び合い、幸せを実感できる体験を増やしていきたく設立しました。その元になる概念がホスピタリティです。

3 一般社団法人H&S Institute[®]の目的

当法人の目的は、1992年から研究をスタートし、日本のホスピタリティマネジメント研究を牽引している筆者による「ホスピタリティマネジメント」を広く社会に伝え、組織マネジメントの軸に据える活動を展開することです。また、ホスピタリティを実践する人財であるホスピタリティ・クリエーター[®]を養成するとともに、企業をはじめとした組織で働く人、顧客・患者、組織、地域社会がともにHappyになること、また多くの人々にとってより暮らしやすい社会にしていくことを目的としています。

さらには、社会の発展に貢献していきたいと考えています。当法人が行う事業の対象は、主に医科、歯科、介

4 一般社団法人H&S Institute[®]の特徴

当法人の特徴は、以下の4点に集約することができます。

- (1) ホスピタリティについては難しい概念と受けとめられていますが、当法人ではわかりやすく図や表を用いて講義します。
- (2) 対面講座を通じて、新入職員から経営者まで同じ言葉を使用してコミュニケーションできるようになるため、組織だった実践が容易です。
- (3) ホスピタリティマネジメントは経営学の一分野で、その構造についてわかりやすく次の3つの視点から構成しています。1つは私たち人間しか生み出すことができない人間価値であり、人間性を表現することを「経営の土台」として位置づけています。2つめは他院と同じことを画一的に行うサービス価値であり、効率性を向上する「経営の基本」にあたります。3つめは他院にはない特徴づくりを行うホスピタリティ価値で、創造性の発揮を必要とする点で「経営の重点」として位置づけています。これらは、サービス概念のルーツならびにホスピタリティ概念ルーツ、またそれぞれの意味から導き出したものです。

(4) ホスピタリティ・クリエイター[®]は、Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの資格に分かれています。ステップを踏んで各資格を取得することが可能です。特にホスピタリティ・クリエイター[®]Ⅲは認定試験に合格すると、当法人が開講するプログラムをインストラクションすることができるインストラクションマスターの資格を取得することができます。

5 各コースの概要

上記当法人の特徴(4)として資格について紹介しました。各コースについて一緒に見ていきましょう。それぞれの資格を取得するため、以下3つのコースを設定しています。

1. ホスピタリティ・クリエイター[®]Ⅰアクティブリーダー入門コース

職場のリーダーを目指すコースです。まずは「ホスピタリティについて知って実践へ向けて準備するコース」として位置づけています。どなたでも受講することができます。受講後には修了証を手渡して、「ホスピタリティ・クリエイター[®]Ⅰ」の資格登録を行います。同時に当法人の正会員になり、「Ⅰアクティブ会」に所属しているような特典を得ながら活動します。

1) コースの目標

ホスピタリティは、「サービス」とも「おもてなし」とも異なる新しい概念です。そこで、まずはホスピタリティとサービスの違い、およびホスピタリティとサービスの関係(相違関係、補完関係、包含関係、重複関係)について説明することができるようになることが目標です。たとえば、「革新的で優れたサービス」という表現についてどう説明したらよいのか等が課題であり、一緒に学びます。

2) 受講時間

1回4時間30分、基本的には13時～17時30分まで行います。

3) 教科書

『ホスピタリティ・リーダーシップ』(吉原敬典著、2005年、白桃書房)

2. ホスピタリティ・クリエイター[®]Ⅱアドバンス上級コース

「ホスピタリティ・クリエイター[®]」に関してのアドバンスレベルを目指すコースです。ホスピタリティマネジメントのエッセンスを講義する「アドバンス上級コース(ホスピタリティを実践するコース)」として位置づけています。そして、図1に基づいて行動を具体化してい

きます。ホスピタリティ・クリエイター[®]Ⅰの資格登録をしている正会員を対象にして、受講後に行う試験によってホスピタリティ・クリエイター[®]Ⅱアドバンス上級コースの資格を認定します。また、「Ⅱアドバンス会」に所属して活動します。

1) コースの目標

アドバンス上級コースとして、ホスピタリティを醸成するために何に手を打ち、マネジメントすればよいのか、実践的ホスピタリティについて説明することができ、自らもホスピタリティ・クリエイター[®]として実践することが本コースの目標です。

2) 受講時間

1回6時間、10時30分～17時30分まで行います。

3) 教科書

『ホスピタリティマネジメントー活私利他の理論と事例研究』(吉原敬典編著、2014年、白桃書房)

3. ホスピタリティ・クリエイター[®]Ⅲインストラクションマスターコース

ホスピタリティマネジメントを実践することによって、社会貢献を目指すコースです。ホスピタリティマネジメントに関する吉原理論を修得し、誰にでも身に覚えのある事例でインストラクションできるレベルを目指し学習します。インストラクターとしての心構えや技術、そしてホスピタリティマネジメントに関する応用について講義します。すでにホスピタリティ・クリエイター[®]ⅠとⅡの資格登録している人が対象です。試験(小論文とインストラクション実習の試験)によって、ホスピタリティ・クリエイター[®]Ⅲインストラクションマスターとしての資格を認定します。すなわち、当法人が開講しているホスピタリティ・クリエイター[®]ⅠとⅡのインストラクターとして認定します。また、「Ⅲマスター会」に所属し活動します。

1) コースの目標

ホスピタリティ概念の成り立ち、ならびにホスピタリティマネジメントのフレームワークについて実務に即して説明できるとともに、自らの言葉で誰にでも身に覚えのある具体的な事例を用いてインストラクションできるようになることが本コースの目標です。

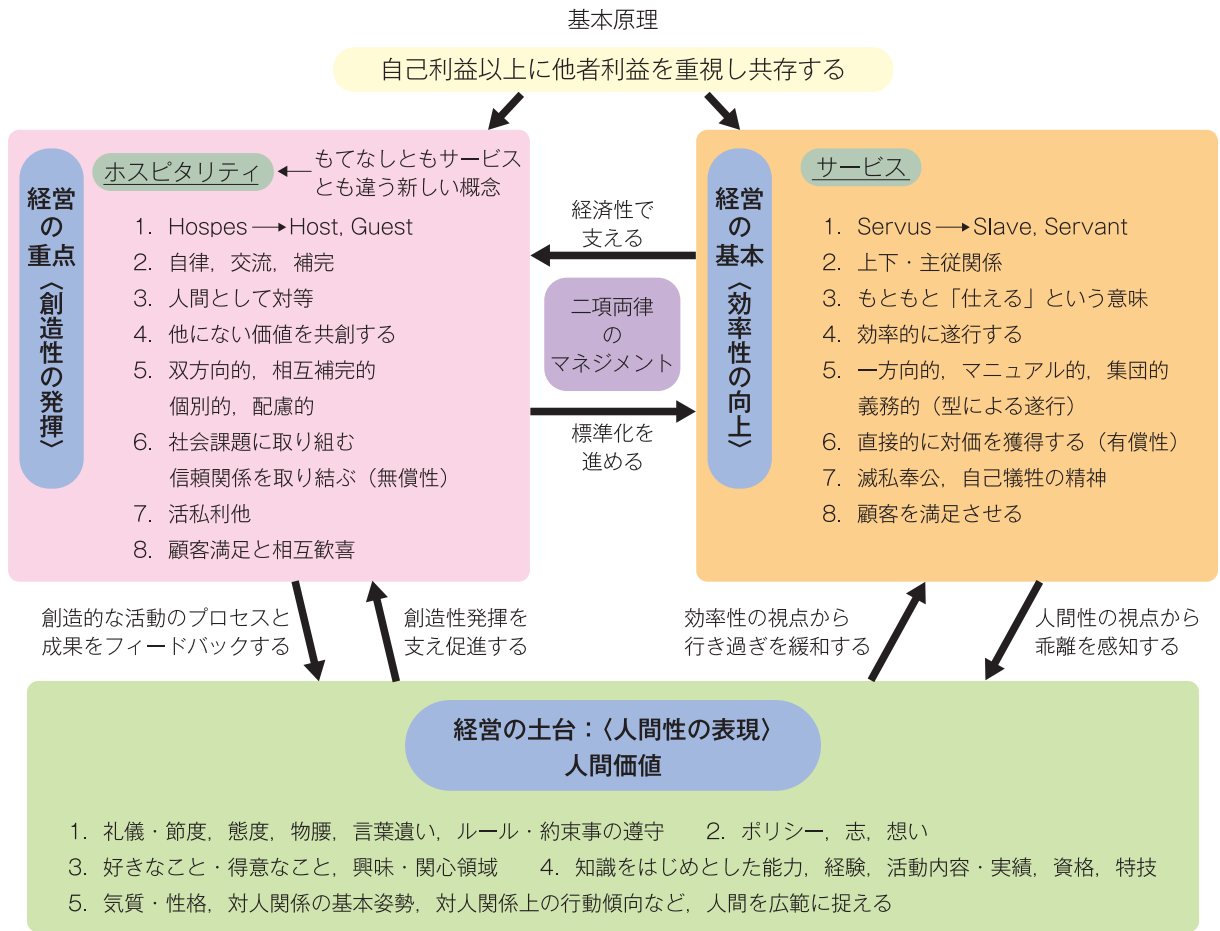
2) 受講時間

1回6時間を4回、各回10時30分～17時30分まで行います。

3) 教科書

『医療経営におけるホスピタリティ価値ー経営学の視点で医師と患者の関係を問い直す』(吉原敬典著、2016年、白桃書房)

『ホスピタリティマネジメントが介護を変えるーサー



©YOSHIHARA, Keisuke

吉原敬典 (2024) 「特別企画鼎談 ホスピタリティを医療界で実践するために」『学会誌華齡』, Vol.17, 2頁, 日本アンチエイジング歯科学会.

図1 ホスピタリティマネジメントの構造

ビス偏重から双方向の関わり合いへ』(吉原敬典編著, 2020年, ミネルヴァ書房)

6 おわりに

資格「ホスピタリティ・クリエイター®Ⅲ」をこれからの10年かけて100人育てることが筆者の夢であり, 1つの目標です。そのためには, ホスピタリティ・クリエイター®ⅠとⅡの資格取得者を増やすことが必要不可欠です。第1回は発足会として7月6日に昭和女子大学で, また場所を移して発足パーティーを行いました。多くの方々に応援していただき, 盛会となりました。そして, 第2回目は10月13日に同じく昭和女子大学で行いました。スペシャルスピーカーとしてTV「料理の鉄人」で人気を博したヒロさんこと, 山田宏巳氏をお招きし, 「ヒ

ロ山田流ホスピタリティ! やるしかない!」をテーマに語っていただきました。ホスピタリティに関する事例研究として位置づけ, 多くの方々に高い評価をいただきました。

2026年はこれらの経験をふまえ, 計画的に行いたいと考えているところです。ホスピタリティ概念を軸に据えることで, 人を思い, 共に喜び合い, 幸福感を感じ合う体験を増やしシェアしていくことが当法人の目標です。今後とも応援していただけますと幸いです。よろしく願いいたします。

※HP

1) 一般社団法人H&S Institute® <https://hsi-happy.com/>

2) よしはらけいすけオフィシャルサイト

<https://yoshihara-keisuke.com/>